長子配付

白山市立蝶屋小学校

学校だより

令和８年２月４日
後期学校評価号

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、１２月に実施いたしましたアンケート結果についてご報告いたします。ほぼ同じ時期に実施しました児童アンケートの結果や学校職員による評価と併せて、アンケートの結果をご報告いたします。この結果を、今後、子どもたちの育成に生かしていきたいと思います。アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

※回答は、「Ａ：あてはまる」「Ｂ：ややあてはまる」「Ｃ：ややあてはまらない」「Ｄ：あてはまらない」から選択。
左表中の数値は、そのうちの「Ａ」の割合（上段）と「Ａ+Ｂ」の割合（下段）を示しています。(%)

1. 令和７年度 後期 学校評価結果とその分析と今後の取組

	重点項目	児童アンケート	Ａ 値 ＡＢ値 (%)	保護者アンケート	Ａ 値 ＡＢ値 (%)	教職員アンケート	Ａ 値 ＡＢ値 (%)	分 析 と 今 後 の 取 組
共通	学校生活	学校は楽しい	46.3 93.1	お子さんは、「学校は楽しい」と思っている	43.5 93.3	子どもたちは、学校で楽しく過ごしている	47.8 100	９割以上の子が肯定的ですが、学校が楽しいと自信をもって言える児童（A評価）が４６％と前期より若干減少しました。学習面において学習内容が難しくなり授業についていけなくなったことや友だちとの関係で不安を感じていることが要因ではないかと考えられます。今後も、わかる授業と安心して過ごせる学級づくり、達成感を味わえるような行事等の取組を行い、安全安心で楽しい学校をつくっていきたいと思います。
	自己肯定感	自分には、よいところがある	36.7 86.5	お子さんのよいところを、お子さんに伝えている	46.6 91.0	子どもたちの自己肯定感が向上するよう、努力や過程を認める声かけや児童同士の関わりを大切にした教育活動を行っている	73.9 100	自分には良いところがあると自信をもって言える児童（A評価）が３６％で、まだまだ自分が認められていると十分感じられておらず、自分の良さに気づけていないのではないかと考えられます。友だち同士、認め合う機会が希薄になっていることもあります。引き続き、お互いを認め合う場を設定し、自分の良さを実感できるようにしていきます。
確かな学力の育成	わかる授業	授業は、わかりやすい	56.0 91.5	お子さんは、「勉強は分かりやすい」思っている	22.4 80.3	ねらいを（育みたい資質、能力）を明確にし、子供一人一人が「わかった」「できた」を実感できる授業を行っている	57.1 100	２学期の学校研究で全教員が共通実践を行い、授業改善に取り組んだ結果、児童・保護者・教員のA評価が共に上昇したと考えられます。導入の工夫や学び合いの工夫、適用問題（定着させるための問題）やふり返りの工夫等、各先生が意識して取り組んできました。これからも学校全体で授業の方向性を揃え、どのように児童に力をつけていくか、研究を進めていきたいと思います。
	学び合い （説明する力）	相手の話を分かってあげようと聞いたり、相手に分かってもらおうとして話したりする	51.4 92.7			相手の話を分かろうとして聞く、相手に分かってもらおうとして話す、など相手意識をもって伝え合う指導をしている	66.7 100	必要感のある課題を児童と共有し、授業の中で「チャレンジタイム」を設けて児童の伝え合いを進めてきた結果、９割以上の児童が肯定的評価となっていると考えられます。誰と何について話し合って学び合うのか、今後も児童主体の授業づくりを行い、学級全体で課題解決をして良かったと実感できるようにしていきます。
	家庭学習	家庭学習は（1年：20分 2~6年：学年×10分）の時間、取り組めていますか	45.9 87.3	お子さんに家庭学習の時間（学年×10分）をとっている	29.6 73.5	児童が家で学年のめあての学習時間（学年×10分）の勉強に取り組めるように指導している。	43.8 93.8	教師の継続した声かけや家庭学習の取組、保護者の方のご協力により、８７％の児童が家庭学習に取り組むことができています。ただ、学年×１０分の時間を家庭学習と捉えて全員が取り組むことは難しいということも感じています。来年度は、家庭学習について保護者の方と共通理解しながら、定着に向けて取り組んでいきたいと思います。
豊かな心の育成	いじめなし	いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	63.7 85.7	お子さんは、いじめられたり、無視されたりすることはなく、安心して過ごしている	55.2 87.4	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごせるよう指導している	72.7 100	定期的に実施しているアンケートを通して、いじめの早期発見・早期対応ができたことが児童の安心した学校生活につながっていると考えられます。しかし、１５％弱の児童が不安を抱えていることも見過ごすことはできません。今後も、不安に思っている児童の状況を把握し、日常的な観察や丁寧な聞き取りを通して、思いに寄り添った指導を全職員で行っていきます。また、クラスの中で児童の良い関係が築けるよう意識し、いじめの未然防止に努めていきます。
	思いやり	友達に対して、やさしく話したり、行動したりしている	51.4 95.0	お子さんは、友達に対して思いやりの心を持って行動している	44.8 94.2	相手意識をもった思いやりのある言動ができるように指導している	68.2 100	９割以上の児童が肯定的評価をしていますが、教師が日常的に捉えている児童の姿と少しずれがあるように感じます。特に、友だちを傷つけるような言葉づかいが気になります。授業の中で、友だちの考えを受け止めたり、良さを伝え合ったりする活動を設定し、お互いを尊重する関係づくりを進めると共に、相手を大切にした言葉づかいができるような学級づくりにも力を入れていきたいと思います。
	あいさつ	友だちや先生、見守り隊や地域の方に気持ちのよいあいさつをしている	69.9 94.2	お子さんは、日常的に「おはよう」「おやすみ」「いってきます」「ただいま」などのあいさつをしている	67.7 93.3	自ら率先垂範であいさつし、友達、先生、来校者、見守り隊、地域の方に、気持ちのよい挨拶ができるように、指導している	72.7 95.5	企画運営委員会の児童による挨拶の取組や教師の声かけにより、自ら挨拶をする児童が増えてきています。さらに、地域ボランティアの方々が来校される機会が増え、大人の方にも挨拶しようとする意識が高まってきました。これからも、挨拶が蝶屋小の良さの一つだと自信をもって言えるように、継続的に取り組んでいきます。
健やかな体の育成	体力向上	体育の時間はめあてをもって、楽しくがんばれている	69.1 91.9			体育の時間等に、めあてを持ってねばり強く取り組めるように工夫している	57.1 100	多くの児童が体育の時間にしっかりめあてをもって活動したり、目標に向かって頑張ったりしています。今後も、児童が目標をもって活動できるように、また体育が苦手な児童も楽しんで参加できるように手立てを考え取り組んで行きたいと思います。
	生活習慣 （食への感謝）	感謝して給食を残さず食べるようにしている	69.9 91.9	お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して生活している	39.5 79.8	感謝して給食を残さず食べるよう指導している	88.2 100	９割以上の児童が感謝して給食を残さず食べています。一年を通して、クラスでの給食指導や栄養士による校内放送等、食育が進められている効果だと考えられます。また、健康委員による季節の献立紹介も行うことができました。今後も、食の大切さや白山の地場産物の素晴らしさを児童に伝えていき、感謝の心を育んでいきたいと思います。
	自己有用感	「自分たちの学校は自分たちでよくする」という思いを持ち、係や委員会などの役割を果たしている	54.8 93.4	お子さんと話す時間をとっている	48.9 95.1	「自分たちの学校は自分たちでよくする」意識を持たせ、自分の役割を果たせるよう指導している（係・実行委員・委員会など）	52.4 100	９割以上の児童が係活動や委員会、クラブ活動、実行委員などで、自分たちの学校は自分たちでよくしていくという思いをもって役割を果たすことができていると感じており、自己有用感に繋がってると考えられます。今後も、様々な学校の課題について児童自らが主体的に考え、行動できるように指導を行っていきます。
家庭・地域との連携	情報発信			学校は、児童の活動の様子を日常的な連絡や便り等で伝えている	43.5 91.0	学校活動や児童の様子を、日常的な連絡や便り等で伝えている	42.9 100	毎月の学校だより・学年だより・ほけんだより・給食だより・図書館だよりに加えて、今年度は校長だよりやコミュニティースクール通信を配信することができました。また、ホームページもリニューアルする予定です。これからも学校の様子を保護者・地域の方にお伝えし、開かれた学校を目指していきたいと思います。

2. 保護者アンケートのご意見より

○「今年度はインフルエンザ等の感染症の状況を連絡してくださり感謝しています。（マスクさせたり手洗いなど声かけできたり、体調の変化にいつも以上に気にかけることができるので）」
「感染症が流行ってきたときに、病名と学年で発症した人数をアプリで発信してほしい。注意喚起だけされても、どれほど流行っているのか分かりづらい。」
→感染症の情報につきましては、個人情報保護のため、詳細な病名や人数のお知らせは控えています。引き続き、感染症の流行が心配される状況になりましたら、テトル配信で注意喚起を行いますので、ご家庭でも感染予防をお願いします。

○「運動会の項目を増やして欲しいです。騎馬戦だけでなくリレーや綱引き、組み体操などがあると嬉しいです。」
→運動会の種目につきましては、安全面や時間を考慮して決定しています。来年度の運動会も、安全に行えるよう競技種目を考え、子どもたちの頑張りが保護者の方にも届くようにしていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

3. 学校運営協議会での主なご意見

・家庭学習については、取り組むことへの楽しさにつながるように、その子の興味に合わせて課題を出してみてはどうでしょうか。
・勉強の定義を広げてみるのもいいですね。例えば、親と話すことを宿題にするのも、家での会話がはずんでいいのでは。
・習い事もあるので、家庭学習の時間を１日ではなく、１週間で考えて取り組むようにするとスケジュールが立てやすいのではないですか。
・「わかる授業」の項目が前期よりも上がっているのは、先生たちが頑張っているからでしょうね。児童も保護者も先生も全部上がっているのはすごいです。先生にありがとうと言いたいです。
・自己肯定感については、先生は声かけをしているがなかなかＡ評価が上がらないですね。親が子どもに認める声かけが少ないのではないですか。来年度、育成会を中心に、自己肯定感を高める取組をしてみてはいかがですか。
・情報発信については、今のところ十分だと思いますが、一度どのような情報を保護者が必要としているのかをアンケート調査してみたらいいのではないですか。親のニーズは何かを知ると、情報発信しやすくなります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
学校運営協議会のみなさん
ありがとうございます！
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

運営協議会	会　長	吉川　優子　様
運営協議会	副会長	根上　宏之　様
運営協議会	委　員	吉倉　陽子　様
運営協議会	委　員	山本　洋平　様
運営協議会	委　員	盛本　喜治　様
運営協議会	委　員	喜多　佳代　様
運営協議会	委　員	木村　牧子　様